

まちづくりの進め方

24 協働・共創のまちづくり



1. 10年後に目指したい将来像

市民、事業者・団体及び市が、それぞれの強みを発揮しながら協働による地域づくりが進められています。あわせて、多様な主体が、異なる視点や価値観のもと、対話と試行錯誤を重ねることを通じて、相互に連携し目的を共有しながら、一体となって三田のまちを元気にする共創の取り組みが行われています。

2. 10年後に心配される三田の状況

3. 10年後に目指したい三田の状況

取り組み

A	市民、地域、事業者・団体等及び行政間の情報共有や意思の疎通ができておらず、意欲や持てる力が結集できていないこと	情報共有や課題、利用可能な資源、提案のマッチングが図られ、チーム三田で地域の活性化や課題の解決に取り組んでいること	① ④
B	市民活動に対する支援が個別化・形式化し、意欲ある取り組みを実現しようとする機運が失われていること	持続可能性と実効性を兼ね備えた支援体制を励みに、意欲ある多様な人々や団体が持てる力を発揮しながら様々な公益的活動に次々と取り組んでいること	②
C	市民活動が、会員間の交流や個人的な範囲にとどまり、人づくりや地域づくりに活かされていないこと。また、多様な人々の参加が進まず、活力や持続性が失われていること	共創の意識や目標の下に地域の資源や課題、団体等の情報が共有され、多様な人々のゆるやかなつながりで、創造的な地域づくりの機運が生まれていること	③
D	自らが住む地域やその未来が否定的に捉えられ、地域をより良くしようとする意欲や活力が失われていること	自らができる事や得意なことで地域づくりに関わろうとする意識に基づく小さな活動がつながり、広がることで三田のまち全体が元気に輝いていること	② ④

まちづくりの進め方

【24】 協働・共創のまちづくり

1 10年後に目指したい将来像

こども・若者を含む多様な属性の市民、事業者・団体等及び市が、それぞれの強みを発揮しながらまちづくりが進められています。あわせて、目的を相互に共有することで、高等教育機関を含む多様な主体が、異なる視点や価値観のもと、対話と試行錯誤を重ね、相互に連携し、一体となって三田のまちを元気にする協働・共創の取り組みが行われています。

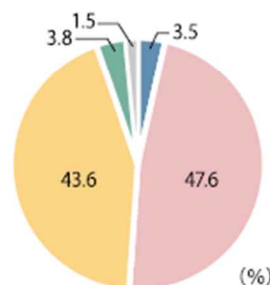
2 10年後に心配される三田の状況

3 10年後に目指したい三田の状況

取り組み

A	市民、地域、事業者・団体等及び市の活動が活発に行われているが、お互いの活動に関心を持っておらず、その思いについて知る機会がないこと	活動している人々や団体が、どのようにまちや地域の課題を認識し、その解決に取り組んでいるのかを知り、共感できるようになっていること	①
B	活動する市民や団体等の相互の連携が十分ではないことがあり、結果として活動の成果が上がりにくくなっていること	市民や団体等の活動の連携がとられておりまちづくりや地域づくりが効果的に行われていること	②
C	事業者や大学等の力をまちづくりに生かす「公民連携」は進んでいるが、既存のサービス、商品、研究成果等を活用するにとどまり、具体的な課題の解決の成果が上がりにくくなっていること	これまでの取り組みに加えて、具体的な課題を解決するためにサービス、商品、研究成果等のアレンジがなされており、課題解決に資するだけでなく、イノベーションのきっかけにもなっていること	③
D	市民活動、地域活動、公民連携が活発に行われているものの、それぞれが別個のものとして取り扱われることで、結果として取り組みに過不足が生じている懸念があること	こども・若者を含む多様な属性の市民、地域、事業者・団体等がその垣根を越えて目標や課題を共有してまちづくりを行うことで、課題の解決にとって大きな力となっていること	④

■市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うかについて



■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない
■ そう思わない ■ 無回答

※シビックプライド

住民として自らが住む地域に対して誇りをもち、その良さを守り育てて行こうとする意識をいう。

※地域担当 55ページ参照

※市民活動推進プラザ

市民活動に必要な情報の提供や相談等市民活動に関する総合窓口をいい、まちづくり協働センターに設置している。

※協働事業提案制度

市民活動団体等の特性を活かし、市等との協働によりお互いに資源を持ち寄って課題解決を目指す助成制度をいう。

4. 取り組み

- 市民**
 - 地域に関心を持ち、自分のできる事や得意なことで地域づくりに関わろうとする意識を持ち続けます。
 - 多様な人々の意見に耳を傾けながら、多様性と調和に基づく地域づくりを心がけます。
 - シビックプライド※をもって協働し、自らの地域の特長を見出し、伸ばすことを通じてより良い三田の共創に参画します。
- 事業者・団体等**
 - 地域の一員として、事業活動や保有するノウハウ・マンパワー等の経営資源を活かしながら地域づくり、三田のまちづくりに参画します。
 - 協働・共創の連携基盤に積極的に参加し、地域課題の解決に向けた提案や情報提供を行います。

市

- 協働を通じて地域や三田のまちを創造する機運の醸成**
地域活動とテーマ型活動、事業活動の連携による地域づくり、三田のまちづくりを目標に、行政、地域、事業者・団体等、意欲ある市民間の情報共有や課題・利用可能な地域資源・提案のマッチングを進めます。地域担当※や市民活動推進プラザ※を核に多様な力の協働をコーディネートし、新しい価値観や解決策を創造する機運を醸成します。
- 地域人財の育成と、意欲ある共創の取り組みをチーム三田で支援する仕組みの構築**
市民センター等の生涯学習支援を強化し、地域づくりを担う人財育成を進めます。創造的な課題解決に向けた意欲ある人々のチャレンジをみんなで支える仕組みを、協働事業提案制度※の拡充を軸に構築します。
- デジタル技術の活用推進とコーディネート機能の充実**
デジタル技術を活用しながら地域活動や市民活動組織に関わる情報のオープン化や共有化、省力化を進め、地域や市内外の多様な人財の参画と協働を促します。多様な資源や力をつなぐ拠点として市民活動推進プラザのコーディネート機能等を充実させ、共創のまちづくりの基盤として強化を図ります。
- 情報の積極的な発掘・提供と共有化の推進**
市民や事業者・団体等に必要な情報を積極的に提供するほか、モデルや参考となる事例の発掘に努め、広報誌等において、まちづくり活動の課題や背景、想い等を届けることで、まちの魅力や課題、課題解決への取り組み等を共有します。市民の課題への意識や参加意欲の向上を促し、積極的な行動へとつながる情報発信に努めます。

5. 成果指標等

指標名	基準値	基準年	目標値(R8)
三田のまちづくりへの関心度	77.0%	(R2)	80.0%
新たな協働事業提案制度への提案数	—	—	5件
まちの課題や市民活動に関する広報誌の特集等が読まれている割合	34.5%	(R元)	70.0%
SNSを活用した情報発信ツールの登録者件数	—	—	47,000件

■主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市まちづくり基本条例
関連計画	三田市協働のまちづくり基本方針

4 取り組み

- 市民**
 - 地域で行われている他の活動にも関心を持ち、自分たちのできることや得意なことを役に立てたいという意識を持ち続けます。
 - 多様な人々の意見に耳を傾けながら、多様性と調和に基づく地域づくりを心がけます。
 - 地区外の団体、事業者とも良好な関係を築きます。
 - まちや地域の目標を設定・共有し、多様な主体と連携することで、地域の課題の解決に取り組みます。
- 事業者・団体等**
 - 協働・共創のプラットフォームに積極的に参加し、まちや地域の課題を知るように努めます。
 - まちや地域の課題に対して、有している資源やノウハウを活かしてその解決に取り組みます。

市

- 協働・共創の機運醸成**
市民、事業者・団体等に必要な情報を広報誌や SNS 等を活用して積極的に提供するほか、多様な主体による活動やそこに込められた想い等を届けることで、それぞれの活動への共感を喚起します。
- 市民活動等の連携の推進**
市民、事業者・団体等及び市が相互に情報共有やマッチングを進められるよう、情報をデジタル化、オープン化するとともに、コーディネートなどの中間支援機能の充実を図り、交流機会の創出やモデル事例の発信をすることで、好事例を横展開し、多くの地域で課題解決に取り組むことができる環境づくりに取り組みます。あわせて、課題解決に意欲ある人々のチャレンジをみんなで支える仕組みである協働事業提案制度を活用し、活動団体等が交流できる機会の創出と新たなネットワークづくりに取り組みます。
- 公民連携の推進による地域の課題解決**
「公民連携先進都市」として、高等教育機関、事業者等と、地域の課題を連携して解決するためのネットワークを形成することで、先進的な解決策の創出やその実行に取り組むとともに、地域発のイノベーションを生む土壌づくりに取り組みます。
- 協働・共創のプラットフォームづくり**
こども・若者を含む多様な属性の市民、地域、事業者・団体等、高等教育機関及び市が、対等な立場で地域課題について目標などを共有し、多様な意見が尊重されつつ、その解決に向けて取り組むことができる開かれた基盤（プラットフォーム）を整え、世代や立場を超えた協働・共創を推進します。

◆評価指標

指標名	現状値(基準年)	目標値(R13)
KGI 施策重要度・満足度(市民意識調査)	重要度 3.68pt 満足度 2.97pt	↑
KPI 三田のまちづくりへの関心度	79.8%(R6)	83%
KPI 新たな協働事業提案制度の提案数	16件(R6)	20件
KPI 公民連携により実現した新規事業件数	-	累計40件

◆主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市まちづくり基本条例
関連計画	三田市協働のまちづくり基本指針

最上位指標

市民の幸せ実感度の向上

	KGI（成果指標）	KPI（活動指標・取組指標）	項目	現状値	目標値	指標の設定理由	所管課
24 協働・共創のまちづくり	・施策重要度 ・施策満足度	—	新規	重要度 3.68pt 満足度 2.97pt	向上	全施策固定指標	—
		三田のまちづくりへの関心度	継続	79.8% (R6)	83% (R13)	協働・共創のまちづくりを推進するにあたり、市民のまちづくりへの関心度を継続して調査し把握しておく必要があり、本指数は市民満足度の重要な判断材料となる。前期計画の基準値が77.0%、R8目標値が80%、R6実績値が79.8%であり概ね目標を達成していることからR13目標値を83%と設定する。	地域づくり推進課
		新たな協働事業提案制度の提案数	継続	16件 (R6)	20件 (R13)	提案数の増加は、協働の取り組みに対する市民意識の醸成が進んでいる判断材料のひとつとなる。テーマ型市民活動団体が市をはじめ多様な団体と連携し事業が展開されていくことが協働・共創のまちづくりにつながるため、指数として設定する。	地域づくり推進課
		公民連携により実現した新規事業件数	新規	—	累計40件 (R13)	公民連携事業による地域課題の解決を一層進める観点から、新規事業件数を活動指標として設定する。	公民連携推進課